

# 柔軟で快適な働き方を支える 社内向け仮想デスクトップ基盤を Dell PowerEdge + PowerStore で刷新

高信頼インフラと  
手厚いサポートで  
運用負荷軽減にも成功



## ビジネス課題

IT 系コンサルティングファームのイデア・コンサルティングでは、社内向け仮想デスクトップ基盤を構築・運用しています。しかし、コロナ禍をきっかけとする需要増大により、性能・信頼性、セキュリティ面でさらなる強化が求められました。そこで同社では、社員により快適な業務環境を提供すべく、仮想デスクトップ基盤の刷新に着手しました。

## 導入効果

 社内向け仮想デスクトップ基盤のレスポンスや信頼性を大幅に改善することに成功

 圧縮・重複排除機能を活用し、ストレージの消費量を約1/10に削減

 Active Directory／ファイルサーバーも統合することでインフラ最適化を実現

 運用負荷軽減による高付加価値業務への注力とセキュリティ運用レベル向上に成功

仮想デスクトップのレスポンスが改善され、いつでも・どこでも快適に働ける環境が実現できました。また、インフラの信頼性・可用性が高まることで、障害対応などの運用管理負荷も大きく軽減されています。さらに、Active Directory サーバーやファイルサーバーを同一基盤内に収容することで、インフラ環境の最適化も図れました。

## ソリューション

- [Dell PowerEdge R750xs](#)
- [Dell PowerStore 500T](#)

社内向け仮想デスクトップ基盤を支えるサーバーとして、GPU 搭載の「Dell PowerEdge R750xs」を採用。これをオールフラッシュ・ストレージ「Dell PowerStore 500T」と組み合わせることで、パフォーマンスを大きく向上させています。また「Secure Connect Gateway」による監視も実施し、障害対応の迅速化に役立てています。



「今回リプレース対象となった社内向け仮想デスクトップ基盤は、社員の働き方改革を支える重要なインフラです。その性能や信頼性にまつわる課題を解消できたことは、当社のビジネスにとっても非常に大きな意義がありました。」

イデア・コンサルティング株式会社  
クラウドプラットフォーム部 部長  
**羽石 博之氏**

## 「iDEA Desktop Cloud」をはじめとした多彩なサービス／ソリューションを展開

「ハイエンド・ソリューション・サービスによる高付加価値の創造」を経営理念として掲げるイデア・コンサルティングは、富士ソフトグループの事業戦略の一翼を担うIT系コンサルティングファームである。同社では各種ERP導入を支援する「基幹業務ソリューション」に加えて、管理会計業務における非属人化・見える化を支援する「経営支援ソリューション」、マーケティング業務やBIシステム構築などの「データ分析・活用ソリューション」と、幅広い領域にわたるソリューションを展開。顧客企業のビジネスをしっかりと下支えしている。

さらに、同社のビジネスのもう一つの柱となっているのが、「OmniSS Horizon DaaS」をベースとしたプライベートクラウド型DaaS(Desktop as a Service)サービス「iDEA Desktop Cloud」だ。イデア・コンサルティング クラウドプラットフォーム部 部長 羽石博之氏は「当社がiDEA Desktop Cloudの提供を開始したのは2012年ですので、既に13年にわたる実績があります。『クライアントPCの管理工数を削減したい』『セキュリティを強化したい』といったニーズの高まりにつれて

ビジネスも拡大。現在では業種を問わず、数多くのお客様にご利用頂いています」と語る。

iDEA Desktop Cloudには様々な特長が備わっているが、中でも注目されるのが、ユーザーの多様な要望に柔軟に対応できる点だ。イデア・コンサルティング 営業第二部 チーフ 福井真也氏は「プライベートクラウド型のサービスですので、お客様固有の事情に合わせたカスタマイズが可能です。端末のスペック変更などはもちろん、繁忙期にはメンテナンス作業を避けるといったご対応も行えます」と説明する。加えて見逃せないのが、固定料金制を採用している点だ。「パブリッククラウド型のサービスのように途中で費用が変動する心配がありませんので、一度組んだ予算を変更することが難しい国立大学様などにもご好評を頂いています」と羽石氏は続ける。

## 社内向け仮想デスクトップ基盤の環境改善が大きな課題に

このように躍進を続ける同社だが、自社内の業務インフラにおいては一つの課題に直面していた。それは社内向け仮想デスクトップ(以下、VDI)基盤の老朽化だ。羽石氏は「当社ではお客様向けのサービスと並行して、社員に対してもVDIサービスを提供しています。しかし、社内向けの環境に大きな投資をすることは難しいため、これまで限られたリソースをやりくりしてインフラを構築してきました。ところがコロナ禍をきっかけに、リモートワーク／テレワークの需要が急激に増大。この結果、性能・信頼性、そして多様な働き方に対応するためのセキュリティ強化の観点からも限界に達してしまったのです」と明かす。

元々この社内向けVDI基盤は、社員の働き方改革を加速させるべく構築されたものだ。しかし当時の環境は、この目的を十分に果たせるような状態ではなくなっていた。イデア・コンサルティング クラウドプラットフォーム部 情報システム担当 福田幸一氏は「端末の起動に時間が掛かる上に、レスポンスに対する不満の声も上がっていました。また、ハードウェアの故障も多く、多い時には年3回も大きなトラブルに見舞われていました」と振り返る。

## 高い性能・信頼性と手厚い支援体制を評価しPowerEdge + PowerStoreを採用

もちろん、同社としても、こうした状況をいつまでも放置しておくことはできない。そこで、社内向けVDI基盤の抜本的な再



社内向け仮想デスクトップ基盤のレスポンスや信頼性を大幅に改善することに成功



“**我々もユーザーとして、普段から社内向け仮想デスクトップ基盤を利用していますが、レスポンスにストレスを感じるような場面は一切ありません。いつでも・どこでも快適に業務を行うことができています。**

イデア・コンサルティング株式会社

営業第二部 チーフ

**福井 真也 氏**

構築に着手。そのための製品として選ばれたのが、GPU 搭載の高性能サーバー「Dell PowerEdge R750xs」（以下、PowerEdge）、並びにスケーラブル・オールフラッシュストレージ「Dell PowerStore 500T」（以下、PowerStore）をはじめとするデル・テクノロジーズ製品群であった。

「今回 PowerEdge を採用した理由としては、まず当社サービスにおける稼働実績が挙げられます。iDEA Desktop Cloud のインフラには、一部で外部の IaaS サービスを利用していますが、この環境が 100% PowerEdge で構成されています。信頼性が非常に高く、サービスの安定稼働に貢献してくれてきましたので、社内向け基盤についても PowerEdge を選ぶのが良いだろうと考えました」と説明するのは、イデア・コンサルティングクラウドプラットフォーム部 シニアマネージャー 大湯 智史氏。さらに決め手となったのが、デル・テクノロジーズの手厚い支援体制だ。「当社ではさまざまなベンダーと付き合いがありますが、日ごろの対応に不満を感じるケースも少なくありません。その点、デル・テクノロジーズでは、我々の悩みや課題に真摯に向き合い、ユーザーの立場に立った提案を行ってくれました。この点も非常に大きかったです」と羽石氏は語る。

システム構成面での工夫としては、前述の通り GPU 搭載モデルを採用した点が挙げられる。「Windows 11への移行を控えていた上に、最近ではオフィス用途でもグラフィック機能の重要性が増しています。将来にわたって十分なパフォーマンスを提供し続けるためには、やはり GPU が必須と判断しました」と大湯氏は語る。また、ストレージについても、高性能サーバーに見

合った製品が必要ということから、オールフラッシュ・ストレージの PowerStore を選択。大湯氏は「中でも、今回採用した 500T は、リーズナブルなコストでありながら性能もかなり高い。当社にとってムダのない最適な構成を提案してくれたことは大変感謝しています」と続ける。

## 働き方改革に欠かせない 快適な業務環境を提供 サーバー統合も同時に実現

こうして導入された新 VDI 基盤は、2023 年 4 月より本番稼働を開始。同社の業務環境にも、様々な改善効果がもたらされている。「何と言っても大きいのが、仮想デスクトップのレスポンスや信頼性に関わる問題が完全に解消された点です。現在では、時間や場所を問わず、どこでも快適に業務を行なうことができます。以前のように障害対応に悩まされることもなくなり、運用管理負荷も大きく軽減されました」と福田氏は満足げに語る。また、福井氏も「我々もユーザーとして日々の業務に利用していますが、ストレスを感じるような場面はまったくありません」と続ける。

加えて注目されるのが、社内業務サーバーの仮想統合先としても今回の基盤を活用している点だ。大湯氏は「実は Active Directory サーバーとファイルサーバーもリプレース時期を迎えており、その更新をどうするかが課題になっていました。幸い今回の基盤にはまだまだ余裕があるため、新たにサーバーを立てず同一環境内に収容することにしました」と語る。こうしてインフラ環境の最適化を進めた結果、ラックスペースを以前の約



“**旧環境ではハードウェア障害などのトラブルにしばしば悩まされていましたが、現在ではこうしたことまったくなくなっています。おかげで、管理者側の運用管理負担も大きく引き下げる事ができました。**

イデア・コンサルティング株式会社  
クラウドプラットフォーム部 情報システム担当  
**福田 幸一 氏**

“

当社サービスにおける安定稼働実績を評価してDell PowerEdgeを採用しましたが、その判断は正解だったと感じています。Dell PowerStoreの圧縮・重複排除機能も、リソース有効活用に大きな効果を発揮してくれています。

イデア・コンサルティング株式会社  
クラウドプラットフォーム部 シニアマネージャー  
**大湯 智史 氏**



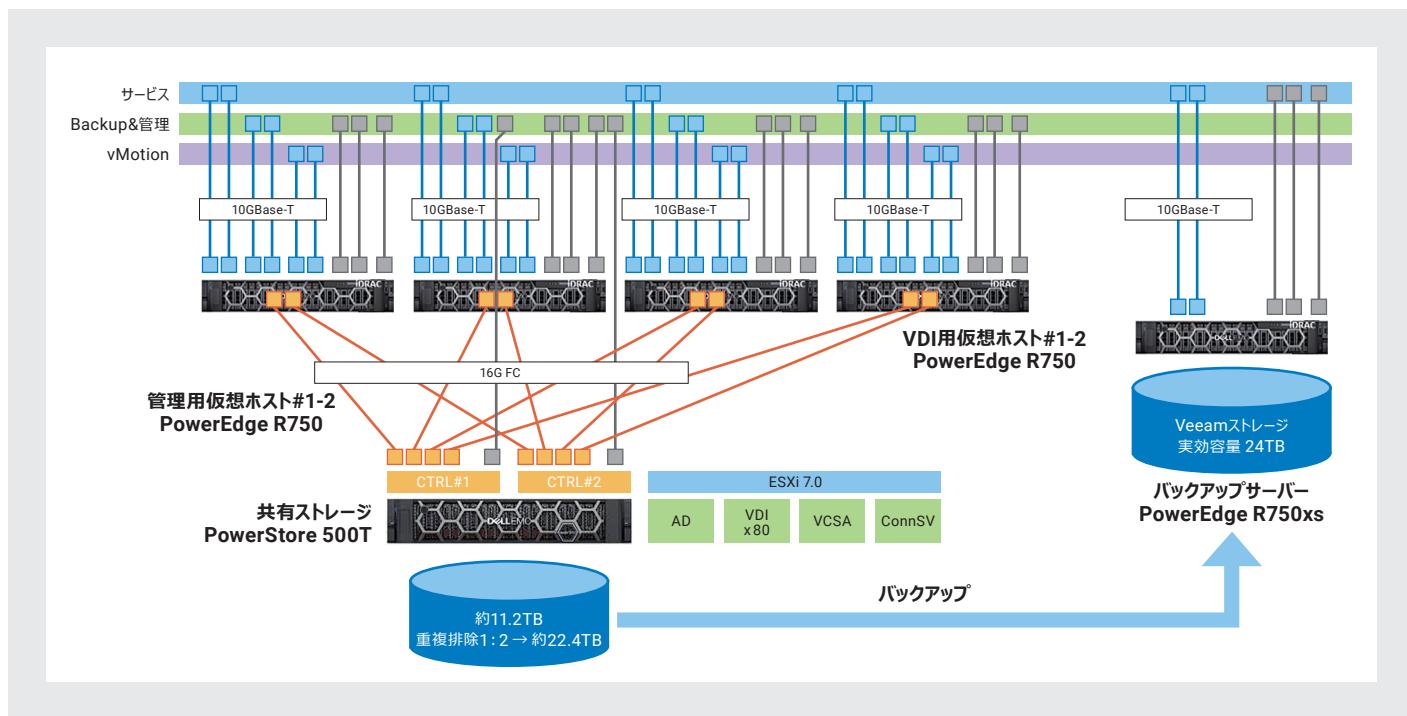
1/2に減らすことに成功。データセンターへの設置コストも削減できた。

## サービスの継続的な改善に取り組み 顧客の課題解決に貢献

PowerStoreの圧縮・重複排除機能も大きな効果を発揮しており、実容量の約1/10程度にストレージ消費量を抑えられている。「当社ではPowerStoreの『Anytime Upgradeプログラム』を採用していますので、コントローラなどのアップグレードサービスも受けられます。長期にわたって安心して製品を使い続けられるのは大きなメリットですね」と大湯氏は語る。実際のシステム導入作業についても、スムーズに進められた

とのこと。大湯氏は「デル・テクノロジーズでは、VMware vSphere環境まで構築済みの状態でサーバーを納入してくれます。おかげで当社側では、仮想デスクトップの構築から作業を進められますので、大変助かりました」と続ける。

同社では今回の取り組みを通して得られた知見を、今後のサービス改善にも積極的に役立てていく考えだ。その重要なパートナーとして、デル・テクノロジーズにも大きな期待が掛けられている。羽石氏は今後に向けた抱負を「クライアント廻りの改善を図りたい、セキュリティを担保しつつリモートワークを強化したいなど、お客様によって様々なお困り事がおありかと存じます。当社では、それぞれの課題に応じた最適な解決策をご提案できますので、ぜひお気軽に相談頂きたいですね」と述べた。



4

デル・テクノロジーズ ソリューションの詳細は[こちら](#)

この記事を共有する

**DELL Technologies**

Copyright © 2025 Dell Inc. or its subsidiaries. All Rights Reserved. Dell Technologies, Dell, EMC の製品およびサービスにかかるその他の商標は米国 Dell Inc. またはその子会社の商標または登録商標です。その他の社名および製品名は各社の商標または登録商標です。本事例は情報提供のみを目的としています。事例内容および事例内に記述された役職名は2025年5月に行われた取材時のものです。デル・テクノロジーズは、本事例の表現または暗示された内容にいかなる保証もいたしません。

デル・テクノロジーズ株式会社  
<https://www.dell.com/ja-jp>